

平成 23 年度通常総会

NPO 法人 ala クルーズの平成 23 年度通常総会が、5 月 23 日午前 11 時より美術ロフトにて財団にも参加をいただき開催されました。初めに澤野理事長は東日本大震災に触れ、避難生活を余儀なくされている人々の一日でも早い復興を願われ、この様な世情にこそ、ala クルーズは市民の皆さんと共に我々の使命を着実に果たしていこうと述べられました。



また昨年度、開催した「笑・刻展」は希薄な人間関係になっている人の“ココロ”に笑いを誘った展覧会として反響が寄せられ、まさに市民の皆さんに ala クルーズのコンセプトを示すことができたのではないかと挨拶されました。続いて総会定足数の確認があり、正会員数 64 名のうち出席数 29 名、委任状 23 名、合計 52 名で定款 27 条の規定により今総会が成立したことが宣せされました。その後、議長に支援グループの大坪さんが指名され議事に入りました。議事録署名人に寺松さん、大石さんが指名された後、

久米副理事長、奥村理事より第 1 号議案の平成 22 年度事業並びに収支決算が報告され、監事の山内さん、春見さんにより適正かつ正確であった旨の監査報告がなされました。同じく久米副理事長、奥村理事より第 2 号議案の平成 23 年度事業計画並びに事業予算が報告され全会一致をもって承認されました。尚、組織検討委員会において検討が重ねられている NPO 法人新 ala クルーズの発足は、残念ながら間に合わせる事ができなかったが、平成 23 年度事業計画並びに事業予算については、柔軟に対応しながら進めていきたいと述べられました。最後に、箆橋事務局長より来賓の挨拶をいただき「昨年受賞した『地域創造大賞（総務大臣賞）』は可児市文化創造センター ala の活動が市民生活、街づくりの一環を担っているとして高く評価されたもの、ala クルーズと財団とで今後もより一層頑張っていこう」とエールを送られました。



総会の様子



組織検討委員会



去る3月27日創造スタッフルームにて、alaクルーズ組織検討委員会の中間報告のための全体会議が29名の参加で行われた。久しぶりに顔を合わせる方もあり、和やかな雰囲気の中会議は始まった。昨年6月6日の第1回目から始まった会議は課題を出し合う事からスタート。そこで出された内容を一つ一つ見直してきたが大きな問題・課題が多くこれまでに19回と重ねてきた。今会議の有意義な進行のため、全会員



の方に事前に資料を配布し、会議内容の理解を深め意見・質問をもつての参加を求めた。永瀬世話人の司会進行で「これも楽しくボランティア活動を進めるための動きである」という澤野理事長の挨拶から始まった。衛館長より「財団に新人4人が入り、新しいステージの始まりと受け止めている。alaクルーズも新しいスタートとの思いである。ともにスタートしていこう」との言葉をいただいた。議論を進める前に、資料の中からピックアップして説明をし、意識の統一を図り活発な意見を求めた。新しい物の見方、考え方でどんどん意見をいただきそれをまた検討していきたいとの委員会の思いを伝える中、具体的な問題への質疑応答がなされた。新しく入会された方の疑問・質問に対しても丁寧に答えがもどり安心された様子だった。

alaクルーズ組織検討委員会 これまでの歩み

- | | | |
|------|-------|-----------------------|
| 第1回 | 6.6 | 世話人の選出(推薦)スケジュールについて |
| 第2回 | 6.27 | スケジュール、問題点の洗い出し |
| 第3回 | 7.4 | 財団とクルーズの関係について |
| 第4回 | 7.18 | ミッション、問題点について話し合う |
| 第5回 | 8.1 | 問題点を提出 |
| 第6回 | 8.22 | 問題点の整理 |
| 第7回 | 8.29 | 組織について議論 |
| 第8回 | 9.12 | 活動への参加や意識について |
| 第9回 | 9.26 | 事業の提案、運営方法について |
| 第10回 | 10.10 | 運営方法について、理事会について |
| 第11回 | 10.24 | 事務局について、今後の進め方 |
| 第12回 | 11.7 | これまでのまとめ |
| 第13回 | 11.28 | 事務局の役割、仕事内容について |
| 第14回 | 12.12 | 事務局の予算、スタッフ制について |
| 第15回 | 12.19 | 定款の見直し |
| 第16回 | 2.6 | 定款について、今後の日程 |
| 第17回 | 2.19 | 定款の見直し、全体会議への準備 |
| 第18回 | 3.4 | 全体会議用の資料の見直し他 |
| 第19回 | 3.17 | 全体会議の進め方他 |
| 第20回 | 4.10 | 全体会議後、理事の選任方法、事務局について |
| 第21回 | 4.23 | 事務局について、勤務用件など |
| 第22回 | 5.15 | 事務局について、今後の進め方 |
| 第23回 | 6.5 | 提言案の内容、見直し |
| 第24回 | 6.26 | 提言案の修正 |
| 第25回 | 7.10 | 前回の続き |
| 第26回 | 7.31 | 全体会議の進め方他 |



alaクルーズ全員集会

8月21日創造スタッフルームにて、alaクルーズ組織検討委員会の最終報告が午後1時30分～3時まで行われました。20名の参加。財団からは遠藤課長が出席。開始間際から雨が降りだし、涼しい中、始まりました。会に先立ち前田世話人から添付資料についての若干の訂正があり、その後、資料を読み進めながら、『運営と組織』について解説を聞きました。3月27日に行われた全体会議での中間報告と重なる部分については省略。次に鬼頭組織検討委員から『理事及び理事会』



澤野世話人からは『事務局の運営』について報告がありました。最後に永瀬世話人から『定款変更』についての解説がありました。今回、大きく変わったところは現行の3グループがなくなり、各プロジェクトで活動することで参加しやすくなるということでした。途中、定款の中で用いる『報酬』という言葉について熱い議論が交わされ、会員の高い意識が伺えました。最終報告が終わり、次は9月25日の臨時総会を迎える運びとなりました。遠藤課長からは「長い間、お疲れさまでした。前向きに進めてください」という労いの言葉をいただきました。この言葉にすべてが集約されています。今後の発展が楽しみです。臨時総会に多くの方が参加されることを願っています。



ギャラリー展

『神様 仏様』

版画・絵・像などを展示する予定です。

期間 平成24年1月18日(水)～23日(月)

場所 ala美術ロフト



笑刻展

第2弾 前回展示できなかった作品、新作を中心に会場いっぱい展示いたします。

期間 平成24年3月3日(土)～11日(日)

場所 ala美術ロフト



民族衣装でフロントスタッフ

7月30日、31日の財団主催事業「多文化共生プロジェクト2011公演」において、私たちフロントスタッフは、制服ではなく、「民族衣装」で活動しました。例年この事業は、財団の「アーラまつり」にて行われていましたが、今年は、2日間小劇場での公演となりました。私たち12名は、それぞれインド・中国・ブータン・ミャンマーなどの衣装でお客様をお迎えいたしました。お客様からは「それはどこの衣装ですか？」などと聞かれたりしました。初めての民族衣装でのフロントスタッフは、少し動きにくいところはありませんでしたが、とても楽しく良い気分での臨むことができました。またこういう機会があれば、ぜひ参加したいと思います。



ala クルーズ視察研修 茅野市民館

茅野市民館の活動グループ“サポートC”は、alaクルーズの活動と似通った内容で今後の参考にしたいと考えております。

平成23年10月23日(日)7:00 出発～18:30 頃着

参加希望者はスタッフルーム掲示板に氏名記入願います。

締め切り9月30日

ala クルーズフロントスタッフ研修

星乃もと子氏を迎え下記の日程で研修会を開催します。

記

11月4日(金)19時 主劇場 フロントスタッフ現場研修

5日(土)9時30分～12時 スタッフルーム 座学

ala クルーズ講演会

平成24年2月19日(日)午後1時よりワークショップ2F(洋室)で、講師:永井美佳氏(大阪ボランティア協会)をお招きし“(仮)市民へのコーディネーションをどうして行くか”の演題で研修会を開催いたします。この研修会でalaクルーズの会員がさらにレベルアップを果たし市民活動に役立つことと思います。

編集後記

昨年5月に通常総会で承認された「組織検討委員会」が1年以上たちました。早いものです。創造企画・支援・広報Gを解消して、今後は委員会をもとに運営していくことになりそうです。10年を節目として、よりよい見直しなることを願っています。alaクルーズを通して、皆が元気になると嬉しいです。ウサギ年は計画を練るとよいそうです。今後の躍進に向かって、楽しく活動していきましょう。(H)

ala クルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414

<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>

Mail : ala-crews@kpac.or.jp

